

札幌市立北の沢小学校の取組

1. 研究のねらい

研究テーマ：「公立図書館との効果的な連携を生かした読書活動の充実と学び方の育成」

- 図書館モデル公開授業研究とその実践を通じ、公立図書館の効果的な活用と本に親しむ活動の充実を図る。
- 中央図書館と南区民センター図書室、本校図書館の連携に基づく図書館機能の充実とその効果的な活用を図る。
- 日常における言語活動の基礎基本育成の取組（本校の特色ある学習活動の時間「国語の基礎タイム」の取組）と連携し、読書活動、各教科における調べ学習等探求活動の充実とともにコミュニケーションスキルの向上を図る。
- 読書活動と読み聞かせ活動を効果的に組み合わせ、日常的に本に親しむ心を育てる。
- 調べ学習や読書活動の充実に向けて効果的な図書館利用やICT機器の活用、活動のあり方を探る。また、本に親しむ講座やものづくり等の表現・体験活動の設定を図る。

2. 取組内容

(1) 3 学年国語「本は友だち」

- ◇紹介したい本を選び、見所やお勧めのキャッチフレーズ等を本の帯で表現して紹介する言語活動を通して、いろいろな本や文章を目的に応じた読み方で読むことができる。
- ◇中央図書館を複数回にわたって訪問する活動を通して、公立図書館への親しみを深めるとともに、公共施設を繰り返し訪問・活用することによる学習効果の向上を目指す。

①【第1次活動】「図書館の工夫探し」

本校から中央図書館までは距離的にはさほど遠くないが、日中の路線バスの本数が少ないため、児童が自ら利用するには難しいこともあり、ほとんどの児童にとって中央図書館は初めてであった。

そこで、大きな図書館に親しむとともに、多様な本選びの体験に向けて、次の活動を設定した。

- 中央図書館の「子どもの森」のつくりや環境構成、展示等の工夫をグループ活動で探す場面と、各自が発見した事柄や気付いたことを全体で交流・発表する活動。
- 図書を借りる際（一人計3冊）には、自分の興味・関心で選んだ本の他、「夏」にかかわる本を必ず1冊は含むように指導し、季節感を考えた本選びの意識付けを図った。

②【第2次活動】「おすすめの本の帯を完成させて紹介しよう」

第1次活動で借りた本の紹介について本の帯で表し、伝える活動を次のように設定した。

<学校で>

- 借りてきた本から、友達に紹介したい本を学校で深く読み込み、本の見所を選んだりキャッチフレーズや効果的なカット絵を考えたりする。
- 並行して国語の物語文教材を用い、簡単な定型の様式（書名・見所・カット絵）による本の帯づくり（試作版）に取組み、展示して作品のよさや効果について交流する。



○読み込んだ本にかかわる本の帯作りを自由な様式で取り組む。

<中央図書館で>

○これまで取り組んできた本の帯を仕上げるとともに、実際の本に帯を取り付けて展示し、互いの作品を鑑賞する活動と、一人一人の作品を書画カメラで拡大して紹介する活動を行った。

○今回、図書を借りる際には、自分の興味・関心で選んだ本の他、「秋」にかかわる本を含むように指導し、前回に引き続き、本選びの視点を広げるような意識付けを図った。



(2) 2学年国語「としょかんをたいけん」・特別支援こぶし学級「としょかんでたいけん」

◇図書館の地図や本の分類について調べる言語活動を通して、自分の読みたい本を探することができる。

◇中央図書館や地域の図書館を見学し、施設や機能の特色に気付く。

【第1次活動】(午前：中央図書館にて)

○「子どもの森」における本の主要な分類や設備、各種表示等を記録し、図書館地図をつくる活動を通して図書館の様々な工夫を知る。
(2年)

○「子どもの森」の貸出業務を体験する活動を通じ、図書館における業務や役割を知る。(こぶし学級)

○大きな図書館で学んだ感想や印象を短いフレーズにしてしおりに表す活動を設定し、できたしおりをその場で活用することで、楽しく読書活動に取り組むことができた。

○借りた本のうち、1冊は「ものづくりや遊び」に関わる本を選ぶように指導し、本選びの意識付けを図った。

【第2次活動】(午後：南区民センター図書室にて)

○南区民センター図書室を見学して、蔵書や利用の特色にふれ、身近な地域の図書館のよさについて考える活動を設定した。



3. 成果と課題

(1) 成果

○「探す」「気付く」「読む」「つくる」「聞く」「交流する」活動を、学習のねらいに合わせてバランスよく設定することで、読書活動への興味や関心を高めることができた。

○図書館における本の分類や陳列、様々な施設や備品、本に親しむ環境づくり等が、全ての利用者(様々な世代の市民)にとって使いやすいように図られていることに気付くとともに、その取組や工夫は学校図書館においても同様であることを学ぶことができた。

○毎回の活動の終末に本校図書ボランティアの保護者による読み聞かせを位置付けたことは、読書活動の広がりや興味の持続化に効果的であった。

(2) 課題

○本選びのバリエーションを広げようと「夏」「秋」「ものづくり・遊び」の視点を提示したが、どんな本が該当するか・どのように選択するかという事前のレファレンス学習が必要である。